

2025 年 9 月 25 日

2025 年度 第 9 回Jリーグ理事会後会見発言録

2025 年 9 月 25 日(木) 16:00～

Jリーグ会議室および Web ミーティングシステムにて実施

登壇: チェアマン 野々村 芳和

陪席: 執行役員 窪田 慎二

執行役員 青影 宜典

執行役員 樋口 順也

執行役員 鈴木 章吾

司会: 広報部長 江崎 康子

【司会(江崎広報部長)より説明】

本日開催いたしました第 9 回理事会後の会見を開催いたします。

本日は 2 部制で、理事会の決議事項の公表ののち、クラブライセンス交付に関する説明会を実施いたします。本日の理事会での決議事項の公表は 1 件です。

《決議事項》

1. 2026 特別シーズン 大会名称・大会ロゴ・大会協賛社決定の件

<https://aboutj.league.jp/corporate/pressrelease/article/15681>

Jリーグは本日の理事会において、2026 年 2 月から 6 月まで開催する特別大会の名称を、『明治安田Jリーグ百年構想リーグ』とすることを決定いたしましたので、大会ロゴと併せてお知らせいたします。なお本大会におきましても、明治安田生命保険相互会社とのタイトルパートナー契約に基本合意いたしました。リリースには大会の正式名称、英字表記および大会の趣旨を明記しています。大会ロゴはメディアチャンネルに素材を展開していますので、そちらのロゴデータをご使用いただけます。

【野々村チェアマンよりコメント】

特別大会の名称の件について少しだけお話しさせていただきます。明治安田様が引き続き大会のタイトルパートナーとしてご支援いただけることになりました。改めてお話ししますが、2014 年のJ3 リーグにタイトルパートナーになっていただいてから明治安田様とお付き合いが始まり、2015 年に全てのカテゴリーのタイトルパートナーになっていただいて以降、Jリーグの理念に大変共感をいただき、社会、地域を元気にしていこうと共に歩んできて、今回この特別大会もご支援いただけるとのことがありたく思っています。大会名に「百年構想」も入っていますが、大会の主旨に関しましても、明

治安田様が百年先を見据えて一緒に、社会や地域を元気にしていこうという思いを共感いただけたことも大きかったと感じています。ハーフシーズンの大会でいつもの大会とは違うとはいえ、J1は東西、J2、J3は東西南北に分けた初めての取り組みをいたします。Jリーグ百年構想を30数年前に掲げて、10クラブから始まったリーグが今60クラブになったからこそできる大会でもありますので、大会を楽しむということに加え、ここからの百年、どのようなサッカー界、スポーツ界、世の中にしていくか、そしてそのためにどのような貢献ができるかというところも含め、皆様にも様々なところでお伝えいただければと思っています。

【質疑応答】

なし